

広報 こえのするまち

おいしだ

大石田町

8

August

2026

No.842



—主な記事—

大石田まつり「最上川花火大会」、
維新祭、二十歳のつどい、地区対抗野球大会

表紙写真／大石田まつり 成人神輿(8月16日(日)・大橋～四日町地区)



8月16日(日)に大石田まつり「最上川花火大会」が開催され、訪れた多くの観客を魅了しました。同花火大会は、永久橋「大橋」の完成を祝い始まったまつりで、90年以上の歴史がある伝統の花火大会です。
当日は町民号「20号玉5連発」をはじめとした大型花火や、幻想的な創造花火など約3000発の花火が打ち上げられ、大石田の夜空に大輪の花を咲かせました。
そして、同日には、二十歳を迎えた若者による成人神輿も行われ、大橋、四日町地区を練り歩き、活気あふれる神輿姿を披露していました。

夜空を彩る大輪の花

今回、最も維新祭を盛り上げた団体(MIM)に選ばれたのは、、、



涌谷太鼓



雪国鷹巣太鼓保存会



最上川芭蕉連



ふたばヒップホップダンスクラブ

民俗文化サークル四方山会

のみなさんです！大変おめでとうございます！



民俗文化サークル四方山会



やっとなんたい



久保田舞・法井南瑠



大石田維新組



花笠踊り元祖会・大石田町民謡研究会

維新祭

大石田まつり維新祭が、8月15日(土)にJ R大石田駅前
広場で開催され、町内外から踊りと太鼓の団体など21団体が参加し、華やかな踊りと力強い太鼓の競演が繰り広げられました。



今年成人式を迎えた皆さんに、これからの想いを聞いてみました。



二十歳の誓い



玉ノ原 昊軌さん



戸田 汐梨さん

雪深い大石田町で過ごした思い出や、温かく支えてくれた家族、先生方、地域や友人への感謝は言葉に尽くせません。コロナ禍などで当たり前の生活が制限される中、人とのつながりや支え合いの大切さを学びました。

私たちは現在それぞれ異なる道を歩んでいますが、ともに夢や目標に向かって努力を続けています。私たちはこれから先、責任を持って行動し、困難にも挑戦し続ける気持ちを忘れず前へ進んでいきたいと思っています。

二十歳という人生の節目を迎えられた喜びを胸に、これまで支えてくださった方々への感謝を忘れず、希望を持って未来を切り拓いていきます。

私たちは自然豊かな大石田町で育ち、友人や先生方など多くの方々を支えられて成長してきました。

私は北海道の大学で農業を学び、将来は新規就農して日本の農業を支える一人になりたいという目標ができました。地元を離れて生活する中で、温かく背中を押してくれた両親の支えや、そのありがたさを改めて実感しています。

二十歳を迎え、これまでの思い出や教えを胸に、大人としての責任と自覚を持ち、それぞれの場所で自分の夢や目標に向かって努力を続けていきたいと思っています。



大石田町 成人式 2026



令和8年度大石田町二十歳を祝う会が、8月15日(土)に虹のプラザ「なないろホール」で行われました。今年は平成17年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた63人が二十歳を迎えました。

式典では、庄司中町長が二十歳を迎えた参加者に「今日まで支えてくれた家族へ、自分からありがとうと感謝を伝えてほしい」と話しました。その後、参加者を代表して戸田 汐梨さんと玉ノ原 昊軌さんが二十歳の誓いを述べました。

また、続いて行われた二十歳のつどいでは、久しぶりに再会した友人と近況報告をしたり、将来の夢などを語り合ったりして、楽しい時間を過ごしていました。

第72回地区对抗親善野球大会

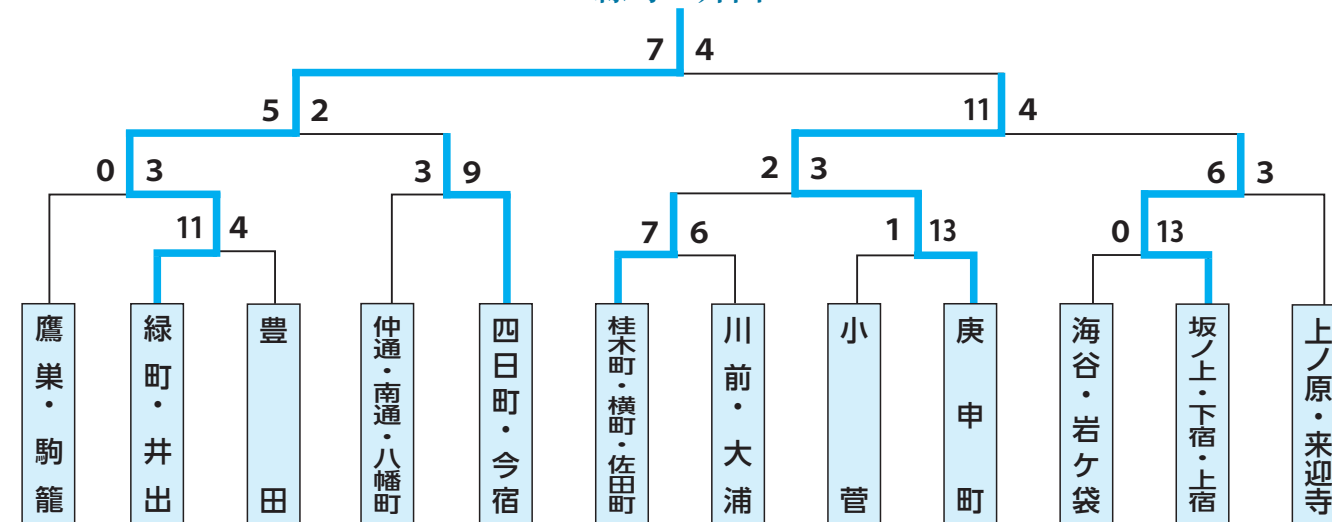


8月9日(日)・11日(火・祝)の2日間にわたって、第72回大石田町地区対抗親善野球大会が行われました。大会には12チームが参加し、優勝を目指し熱戦を繰り広げました。

決勝戦は、緑町・井出チームと庚申町チームが対戦し、緑町・井出チームが、優勝を果たしました。
大変おめでとうございます。



緑町・井出



大会結果



優勝

緑町・井出チーム

準優勝

庚申町子一ム

第3位

四日町・今宿チーム

第3位

坂ノ上・下宿・上宿チーム

【団体の部】

【個人の部】

【最高殊勲賞】

遠藤 太胡(緑町・井出手ーム)

【敢闘賞】

石塚 健介(庚申町チーム)

【打撃賞】

若月 旭
(庚申町チーム)

【優秀選手賞】

聖尚(緑町・井出子一ム)

押切 晃志郎（庚申町チーム）

木村 天真(四日町・今宿チーム)

井上 優也 (坂ノ上・下宿・上宿チム)

（敬称略）



激闘を制したのは、
緑町・井出チーム!!



3歳児健診でむし歯のなかった子 を紹介します

3歳児健康診査が7月3日(金)に保健センターで行われ、歯科健診を受けた3歳児7人全員にむし歯がありませんでした。乳歯は生え変わりますが、きれいな永久歯になるためには乳歯を健康にしておくことが大切です。

毎日『食べたらみがく!』の歯磨き習慣を心がけましょう。



▲ふたば保育園

相馬 ^{あいと} 逢人さん(下宿・黒滝)



▲大石田保育園 (写真左から)

和田 ^{おとは} 乙葉さん(曙町)
加藤 ^{りと} 李都さん(四日町)
高橋 ^{いちか} 一華さん(川前)
大橋 ておさん(朝日町)



▲ふたば保育園

高橋 ^{こはる} 心晴さん(小菅)



▲大石田保育園

本多 ^{りく} 凌久さん(庚申町)

新しい農業委員・推進委員を紹介します

7月21日(火)に新たに任命された農業委員の方へ木島副町長から任命書が手渡されました。また、27日(月)には、新たに委嘱された農地利用最適化推進委員の皆さまへ、青木農業委員会長から委嘱状が手渡されました。各委員の任期は令和8年7月20日から令和11年7月19日までの3年間です。

農業委員

農業委員は、農地の売買や賃借などを行う際の許可、遊休農地に対する措置など、農業者の利益を守る大切な役割を担っています。



三浦 清孝(鷹巣1)



小座間 智夫(四日町)



早坂 健(岩ヶ袋)



高橋 清一(上宿)



桐原 裕(今宿)



高橋 勉(下宿・黒滝)



土屋 隆志(川前)



星川 奈穂(駒籠)



笹原 剛(鷹巣1)



齊藤 誠(井出)



小内 正美(来迎寺)



鈴木 茂(新町)



会長職務代理
高橋 肇(小菅)



会 長
青木 忠弘(大浦)

農地利用最適化推進委員

農地利用最適化推進委員は、農業委員と連携して担い手への農地集約、耕作放棄地の発生防止、新規就農者への支援活動などを行います。



奥山 彦也(里)



井上 和巳(田沢下)



武田 実(新山寺)



伊藤 強(東町)



大山 敏弘(海谷)



草刈 一将(豊田)



佐藤喜三郎(駒籠)

■大石田町農業委員会事務局
☎35-2111(内線145)



心が踊る音楽を musicMATSURIを開催

木 管楽器の仲間であるサクソフ奏者4人によるサクソフォン・カルテット「カルテット・スピリタス」によるmusicMATSURIが虹のプラザ「なないろホール」で7月5日(日)に行われ、多くの方が元気あふれる音楽を楽しみました。

今回の事業では、3日から町内の様々な場所で、アクティビティを行いました。3日は、町内小・中学生に向けた演奏を行い、4日は未就学児へのアクティビティと「水辺で乾杯」イベントブースでの演奏を行いました。5日には、虹のプラザ「なないろホール」でコンサートを行い、趣向を凝らした演奏と、本格的な音色に、訪れた方は、演奏後楽しそうな表情で会場を後にしていました。

3日間の活動を通して、町民の皆さんと音楽を通じた交流を深め、サクソの音色と音楽の魅力を多くの方に届けていました。



仲間と爽やかな汗を流して 親睦深める

第 25回きららクラブ大石田グラウンドゴルフ大会が、7月10日(金)にスポーツ広場で行われました。大会には44人が参加し、白熱した試合が繰り広げられました。結果は下記のとおりです。

- 第1位 関 慶 治(田沢下)
- 第2位 青 木 孝 行(大 浦)
- 第3位 井 上 眞(田沢上)
- 第4位 桐 井 誠 一(東 町)
- 第5位 青 木 孝 次(庚申町)
- 第6位 寺 寄 ハルヨ(上 宿) (敬称略)



「かわ」の魅力を発信 水辺で乾杯2026～おおはし夜市～

今 年で3回目となる「水辺で乾杯2026～おおはし夜市～」が7月4日(土)に開催されました。

このイベントは、水辺に親しみ、魅力に目を向けるため、水辺で乾杯をするイベントで、当日は、約1,000人が大橋に集まりました。

今回は、園児や児童によるダンスパフォーマンス、民謡などのイベントも行われました。他にも昔語りやフォトラリー、防災ブース、マルシェなど、子どもから大人まで楽しめるイベントとなり、当日は、多くの参加者が庄司町長の掛け声に合わせて、一斉に乾杯しました。

令和8年度 大石田町合同表彰式

令和8年度大石田町合同表彰式が7月30日(木)に役場「大会議室」で開催され、自治功労者の方々に表彰状と記念品が贈られました。あわせて、教育委員会関係の寄贈者の方に感謝状が贈られました。表彰された方々は次のとおりです。(順不同・敬称略)

自治功労者表彰

- 青 木 忠 弘
(農業委員会委員・15年)
- 井 莉 博 子
(選挙管理委員会委員・10年)
- 伊 藤 絹 枝
(人権擁護委員・20年)
- 村 上 茂 美
(介護認定審査会委員・10年)
- 村 形 昌 一
(議会議員・15年)
- 大 場 健 一
(公民館役職員・10年)
- 黒 沼 与 一
(公民館役職員・10年)
- 五十嵐 智 志
(青少年育成町民会議理事・10年)
- 戸 田 昇
(青少年育成町民会議理事・10年)
- 高 橋 堅
(青少年育成町民会議理事・10年)
- 星 川 優 哉
(青少年育成町民会議理事・10年)
- 安 達 良 信
(文化財保護審議会委員・20年)
- 佐 藤 里 美
(文化財保護審議会委員・10年)
- 石 塚 信 雄
(文化財保護審議会委員・10年)
- 矢 作 善 一(善行)
- 小 玉 大 輔(町職員・30年)
- 大 川 美世子(町職員・30年)
- 佐々木 洋 平(町職員・30年)
- 海 藤 多 江(町職員・30年)
- 高 橋 保 洋(町職員・30年)
- 小 澤 亮(町職員・20年)

町内企業永年勤続優良従業員

- 田 中 香 織
(木村商店・20年)

教育委員会関係感謝状

- トヨタライン株式会社
代表取締役会長 齋藤 和博
(通学用帽子29個、図書カード2,000円分26セット)
- 渡 會 哲 夫(現金10万円)





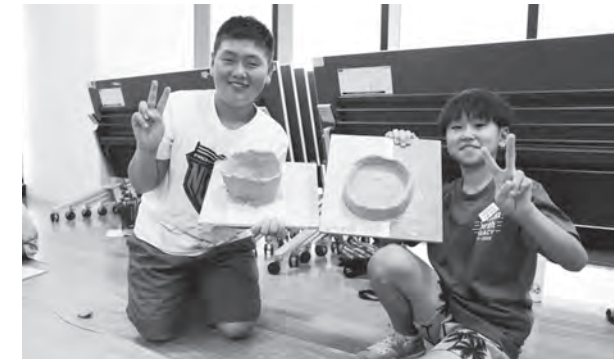
小中学生が大石田の土で陶芸を楽しむ

陶芸教室が7月23日(木)に町内の3小学校の6年生と中学2年生を対象に虹のプラザで行われ、陶芸体験をとおして、ふるさとを愛する心を育みました。

この陶芸教室では、講師としてブルーノ・ピーフルさん(川前)、高橋廣道さん(次年子)、井荻清隆さん(川前)、井荻敬一さん(川前)、地域おこし協力隊の神田光彦隊員にご協力いただき実施しているものです。

児童たちはコップや、お皿など自分らしさを活かした、作品を作っていました。

参加した石森崇葉さん(南小)は、「ご飯が好きなので、茶碗を作りました。ひび割れが起きないように厚さを均一になるように気を付けて作りました。出来上がりが楽しみです。」と話していました。



パラ出場の技術を伝える 齋藤元希選手による水泳指導

昨年のパリ・パラリンピックに出場した競泳男子の齋藤元希選手が、7月27日(月)に母校である大石田小学校で、町内3小学校の6年生を対象に水泳指導を行いました。

これは、齋藤選手が自身が育った町に何か恩返しをしたいという想いから実施されたものです。

当日は、齋藤選手が実際にお手本を見せ、水中での腕の使い方などを指導しました。

参加した東海林光さん(大石田小学校)は、「蹴伸びなどのコツを教えてもらい、遠くまで泳げるようになって、貴重な体験でした。」と話していました。



大石田の自然に目を向けて ゆずり葉の会による出前授業

大石田「ゆずり葉の会」による出前授業が、7月9日(木)に大石田小学校で行われました。

以前から愛宕の森づくりを進めてきた方々が、より大石田町の自然を大切にしていきたいという想いから、大石田「ゆずり葉の会」を立ち上げました。

当日は、会長である矢作善一さんによるゆずり葉の会が活動してきた愛宕神社の環境維持活動※などについてや、大石田小学校の校庭にある松の木についてなどの授業が行われました。

また、オリジナルの木製のペンを作り、児童たちは、それぞれマーカーペンなどでオリジナルの作品を作っていました。

※この事業は、令和8年度山形県緑豊かな森林環境づくり推進事業を活用しています。



交通事故のない 安全安心なまちへ

大石田町・尾花沢市安全安心大会が、7月21日(火)に虹のプラザ「なないろホール」で行われました。安全安心大会は、「明るいやまがた」夏の安全県民運動を推進するため大石田町と尾花沢市が輪番で開催しているものです。

この日は、大石田町民謡研究会によるオープニングセレモニーが行われたほか、ふたば保育園ぞう組の園児による決意表明や大石田町防犯協会八鍬雅彦会長の出発号令により各市町へパトロールが行われ、参加者たちは安全で安心なまちづくりの実現に向け決意を新たにしていました。



町内の活性化のために プレミアム商品券を販売

町内の経済活性化のために、大石田町地域振興券発行委員会が毎年行われているプレミアム商品券の販売が、7月26日(日)に虹のプラザエントランスホールで行われました。

当日は、多くの方がプレミアム商品券を求め、列を作りました。

今回販売されたのは、加盟店で利用できる商品券で、2,500セットが販売されました。

使用期限は、12月31日までとなっています。



小学校統合に向けて



「学力向上支援事業を実施しています!!」

大石田町教育委員会では、令和7年度から小学生から高校生までの学びの機会を広げ、学力向上を目指すため、英語・数学・漢字の検定試験に対して助成を行っています。

大石田中学校を会場に団体受検を実施し、大中学生のほか、各小学校を通じて申し込んだ児童も一緒に受検しています。小学生の段階からそれぞれの目標を持って学習に取り組む意識づけをすることで、中学校進学後の確かな学力向上、学習体制の強化を図っています。

昨年度は小学2～6年生まで計29名の児童が受検にチャレンジしました。今年度も実施している事業ですので、大石田中学校からご案内がありましたら、家庭内でお話しをしていただき、ぜひチャレンジしてみたいかがでしょうか?

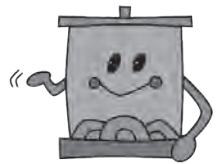
高校生も対象となる事業ですので、受検される方については町公式ホームページをご覧ください。

■教育文化課 学校教育グループ

☎35-2111(内線252)



こっちゃ来い〜



まちとしよ

～大石田町立図書館 information～



Web OPAC
PC・スマホ版

- ◆ ☎35-3877 ◆ 公式HP <http://niji.town.oishida.yamagata.jp/library>
- ◆ 大石田町立図書館蔵書検索システム(WebOPAC)から蔵書の検索や貸出状況、新着情報の確認などができます。利用者登録をしている方は、貸出中の図書を予約することができます。詳しくは図書館にご確認ください。

- 開館時間 午前9時～午後7時(日曜日・祝日は午前9時～午後5時)
- 休館日 毎週木曜日(祝日の場合翌日) 《9月の休館日》3日(木)、10日(木)、17日(木)、24日(木)

読書会 全三回(一回のみの参加も大歓迎!)

「声でたのしむ源氏物語」

第三回 9月5日(土)

午後2時～午後3時半

※今年度は最後の開催となります。

会場/虹のプラザ 2階中会議室

講師/大場 玲子氏
(町内出身・元高校国語科教員)

参加費 無料

待望の声にお応えし、三回シリーズで開催。解説や朗読を交えながら楽しみましょう!

えほんとよみきかせをたのしむ会

おとなから子どもへ伝えるおもしろいおはなし

こどもの本の「今」と、絵本と読み聞かせの魅力について語り合う一時間。

読み聞かせ団体さんからのおすすめ本や、新刊本の紹介もあります♪

●対象 絵本や読み聞かせに関心のある方、子どもと接する機会のある方等

●持ち物 おすすめしたい絵本や幼年童話(図書館からも借りられます)

きがるにどうぞ

参加費無料/申込不要

9月2日(水) 14時～15時

虹のプラザ 小会議室3

今月は、どの本を読む?

『名前のないカフェ』

(ローベルト・ゼーターラー//著、浅井 晶子//訳 新潮社)

孤児院で育ったローベルトは、戦争の名残をとどめるウィーンで、小さなカフェを始める。わずかなメニューしか供さないものの繁盛し、さまざまな身の上の人が集まり…。名もなき人々の懸命な生を描き静かな感動を呼ぶ長篇小説。

『山の神の使い』

(最上 一平//作、マメイケダ//絵 童心社)

春の田植え、夏のひとり旅、秋の稲刈り。東京に住む大河が、おじいちゃんとおばあちゃんのいる山形からだっぴい感じる自然と、そこで暮らす家族のいとなみを、まっしうめんから描いた物語。

新着本から話題の本・おすすめ本を紹介します!

『算数がどんどん楽しくなる! おりがみあそび』

(園田 毅//著 主婦の友社)

小学校の入学前後で知っておきたい、図形のこと、角度のこと、算数の基本をおりがみ遊びを通して学ぶ。「おりがみ」を使って手を動かすことで、「算数思考力」「図形把握力」が身につく。

『どうぶつたちのおひっこし どうやってはこぶのか?』

(平山 暉彦//さく 福音館書店)

キリン、アシカ、トラ、ヤマアラシ…。動物園の大型動物や猛獣も引っ越しをすることがあります。どうやって運ぶのでしょうか? 様々な動物をケガをさせずに捕まえて箱に入れ、安全に運ぶための工夫を描きます。

※紹介文は「TRC MARC」より引用。すべて町立図書館蔵書。

虹のプラザ文化芸術プロジェクトマネージャーコラム

「挑戦を見守る広場へ」

vol.4

7月31日、8月1日に開催した「THE DANCE CIRCUS SHOW」は、おかげさまで二日ともほぼ満員でした。現代サーカス、ダンス、音楽、舞台美術など、様々な表現が虹のプラザの舞台上で交わりました。出演したアーティストや子どもたちはもちろん、会場に足を運ぶ同じ時間を過ごしてくださった皆さんも、この舞台をつくった一人です。

文化をつくるという、特別な技術を持つ人や、企画をする人だけの仕事のように感じるかもしれません。しかし、地域の祭りや昔から続く行事に参加すること、家に伝わる料理をつくること、子どもの話に耳を傾けること、誰かが始めた小さな活動に気をつけることも、この地域の文化をつくる大切な行為です。

私たちの日常では、失敗を避け正しい答えを早く見つけることを求められる場面が多くあります。だからこそ地域の中には、すぐに正解を求めず、誰かの挑戦を見守る場所が必要だと考えています。

表現の場では、やってみなければ分からないことを試し、自分なりに感じ、考え、誰かと共有します。そしてそれは、その過程に大きな価値が見つかります。

子どもたちが舞台上に立つときも、上手くやることだけが目的ではありません。緊張しながら一歩前に出ること、仲間を感じること、自分の身体で何かを伝えること、



(写真 木村雄治)

えようとすること。その経験が、自分の可能性を信じる力につながっています。

それは大人も同じです。虹のプラザを完成させたものだけを見せる施設ではなく、挑戦の途中や失敗も含めて地域が受け止めて、見守る「広場」にしていきたいと思っています。

全員が舞台上に立つ必要も、文化芸術に詳しくなる必要もありません。少し気になる。誰かに伝えたい。次も見てみたい。自分にも何かできるかもしれない。そうした小さな気持ちから、文化を続ける力になります。

文化をつくるのは、舞台の上の人だけではありません。挑戦する人も、それを見守る人も、その一人です。

それでは、また舞台で会いましょう。

虹のプラザ文化芸術プロジェクトマネージャー 大橋武司

町長コラム

「次世代へ虹をかける」

『ペそら漬に学ぶ』

皆さん、こんにちは! 以前は大石田まつりが終わると、気温も下がり秋を感じるようになったのですが、ここ数年は逆に暑さが厳しくなるような、そんな感じがする8月後半です。残暑厳しい毎日ですので、皆さんもお体に気をつけてお過ごしください。

さて、暑く食欲が落ちる夏、そんな時ピリッと辛く、酸味のある大石田名物「ペそら漬」が最高の飯の友であり、酒の友であると思います。私自身「ペそら漬」が大好きで、家業に従事している時は漬けながら毎日何個も食べました。現在では茗荷の葉やしその実と一緒に漬けたモノ、生の青唐辛子、ハバネロやジョロキア等々の激辛唐辛子を入れて漬けたモノ等々、様々な会合で出される各家庭で受け継がれてきた、そして新たな「ペそら漬」をいただくのも楽しみです。

そんな「ペそら漬」を漬けながら、私はいくつもの教訓を得ました。

その一つが、「物事に対して無理な急成長を望まず、一つ一つの積み重ねを大切にしよう」ということです。原料のナスが、天候によって気温が上がり、一気に成長してそれまでよりも大量に採れる日があります。見た目は立派で豊作に見えるのですが、急成長したナスは、皮が薄かったり、中身が伴っていないだったりして、漬け込む途中で不良になることが少なくありません。

そのナスを見ながら、急成長、急拡大しなくてもいい。自分の手が届く範囲で、判断できる速さで、一つ一つ積み重ねていくことが大切なんだな、と感じました。

しいて言うならば「ペそらの振り見て我が振り直せ」でしょうか(笑) 慌てず、焦らず、しかし歩みは止めず着実に良くなっていく。少しずつでも着実に町が良くなっていくように、町政運営に取り組んでいきたいと思っています。

大石田町長 庄司 中

vol.32

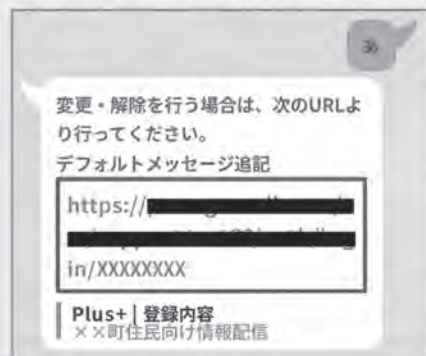


町公式LINEアカウント登録情報の変更の仕方

町公式LINEに登録している配信カテゴリや地区などの登録情報の確認・変更を行いたい場合は、右のとおり、LINEのトーク画面に何か文字を入力することで変更することができます。また、不明な点がある場合は下記の二次元コードより「よくある質問」で確認することができます。



■ LINEのトーク画面に何か文字を入力します。



「大石田町」より登録情報の変更や解除について案内の通知が届きますのでURLをリンクを押します。

死亡事故ゼロ2,245日目

(8月10日現在)

大石田町の交通事故発生状況

(令和8年1月1日～8月10日)

- 発生件数 4件 (+2件)
 - 負傷者数 4人 (+2人)
 - 死亡者数 0人 (±0人)
- ※()は前年比



今月のポイント

「秋の交通安全県民運動」が実施されます

期間：9月21日(月)～30日(水)までの10日間

「秋の夕暮れ ライトと反射材で守る命」

毎月1日は「大石田町民交通安全行動の日」

9月の主な行事予定

日	行 事 予 定
3(木)	第3回大石田町議会定例会(～15日まで)
7(月)	母子健康手帳交付・健康相談/午後1時30分/役場相談室
9(水)	心配ごと相談/午後1時30分～午後4時/社会福祉協議会 行政相談/午後1時30分～午後3時/虹のプラザ和室
24(木)	母子健康手帳交付・健康相談/午後1時30分/役場相談室
30(水)	無料法律相談(要予約)/午後1時30分～午後4時/ 社会福祉協議会

※都合により日程が変わる場合がありますので、事前にお問い合わせください。

＋ 日曜・休日急患の当番医

9月 診療時間：午前8時30分～午後5時

日	当番医院名	電 話
6日(日)	中 央 診 療 所	(23)2010
13日(日)	伊 藤 ク リ ニ ッ ク	(23)3350
20日(日)	吾 妻 ク リ ニ ッ ク	(35)2021
21日(月)	後 藤 医 院	(35)2034
22日(火)	さ か え ク リ ニ ッ ク	(53)8181
23日(水)	加 藤 ク リ ニ ッ ク	(22)9877
27日(日)	お く や ま 内 科 医 院	(24)0980

家族の健康管理に気をつけて



大石田町地域おこし協力隊コラム

こんにちは、地域おこし協力隊の阿部慎一郎です。

「広報おいしだ」での持ち回りのコラムで8月を担当するのは今回で3回目、3年連続になります。幼い頃の8月といえば、お盆に家族で山形へ帰省するのが恒例で、一年で最も楽しい時間でした。今はその訪れていた土地に暮らしていると思うと、なんだか不思議な気持ちになります。

当時、大石田へ向かう道には「ようこそ大石田へ」という看板がありました。今はもうありませんが、その看板を見て、やがて最上川が目に入る——その一連の流れに触れるたび、「大石田に来たな」と実感し、胸が高鳴ったことを今でも覚えています。

当時の風景を思い出すたびに「あの看板がもう一度あったなら」と、ささやかに感じています。

そして、その最上川を一望できるのが虹ヶ丘公園の展望台です。今年度に入り整備も進み、歩きやすくなり、見晴らしもよくなりました。身近な場所ほど足が遠のきがちですが、ぜひ一度訪れてみてください。きっと心地よいひとときを過ごせるはずです。



短歌

毎日の暑さおそれて図書室の一番涼しいところに和む
手始めに西瓜一株植えてみた収穫するのは花火の頃か
チンダル現象美しかりし学ランの男子煙草をふかす昭和は
亡き父の使ひし手提げ今吾が弁当を入れ仕事に向かう
白色の手提げを持って今日もまたいつもの豆腐を買いに出かける
一人一人の顔を見ながら壇上に語る余裕はまだ身につかず

海 鈴 鈴 小 伊 小
藤 木 木 関 藤 玉
忠 智 隆 祐 哲 春
男 恵 行 子 夫 歌

あなたの 夏言葉

俳句

夏祭り孫の花笠壮快に
蝉時雨盛夏に響く木立中
プレミアム券で老母にはらごを
老鷹といへどはつらつ朝の畑
白き鳥青田に染まず舞ひ上がる
茂みなる影の光や百合の花
夏野菜一雨ごとに太くなり
カブトムシ里帰りの子を翔び出させ
暑き午後カエル見上げる外蛇口
ひまわりも暑さに負けて顔そむけ

佐 星 木 伊 柏 糸 青 青
藤 川 村 藤 倉 尾 木 木
一 紀 満 千 ヤ ミ 宙
郎 G 喜 代 子 女 翁

『おおいしだの』とむがすあつたけど④7

へつたれ嫁こ その1

とんとむがすあつたけど。
横山から半道はり離つた里さ、まだ家が十二・三軒しかない時の話だ。

村の真ん中ころさ母親と息子二人で暮らした家あつたけど。ほごさ、一つ山越えだ富並つて村がら嫁こきたけど。

ほの嫁こあまだ、氣立てがええくて明るいさげ、家の中さ花咲いだみだいになつたなだけ。ほして、朝早くがら夜遅くまで一所懸命かせぐ嫁こだけ。姑あまだ、一所懸命かせぐ嫁こ息子さ、んまえもの食せつたくて、芋煮だり豆煮だりごんぼ炒りなのこせだりして、田畑から夕あがりして来んなば待つでんなだけ。

んだげんとも、ほの嫁こ、姑こせだもの何も食ねくて、大根漬けどが菜つば漬けどがばり食いながら飯食つてんなだけ。

「何も食ねげんと、なして食ねなだ。芋どがごんぼどが好かねなだがあ。何好ぎなだあ。」

て姑、心配して聞いだえは、

「おらあ、何だて好ぎなだげんと、ただあ、しょうすくて、だれさも言んなえ事あんなだずう。」

て言つたけど。

「こさ嫁来て、ここの家の人になつたなだもの、なあんにも隠す事なのすつごとないさげ、何でも言つてみる。」

て言つたえは、嫁こしょうすくてしょうなくて、顔赤くして「おれよ、屁たれつと屁とまらねなるんだずう。ほして屁の音、人よりなあんとたつがいんだず。んださげ、ごんぼど

が芋どが食うど屁出つさげ、我慢して食ねなだけつす。」

て言つたけど。ほしたら、姑あ笑て、

「屁たんなえ人なの、この世の中さえねなださげ、屁なの遠慮すつごとないさげな。ただ、人来た時、人の前で屁たつたり、飯こつたつおうなつ時どが、お膳さみんな座つた時どが、屁『ぶう』なて言うずど飯まづぐなつさげ、ほういう時あ氣つけらんかねげんと、あどは朝でも昼でも夜でも屁なの何時たつたてええさげな。」

て言つたけど。

ほの次の日から、嫁こあ、何でも食うようになつたけど。

ほがえしてゐるうづに、嫁こ腹はつてきたけど。嫁こあ、婿殿ど姑のまえで、

「腹はつてきたんだげんと、屁たつてもええべがつす。」

て言つたえは、

「たれろ、たれろ。たんとたれろ。」

て、姑言つたなで、嫁こ柱さたぐづいで足ばハの字に構えで、

「錦さらさらあ、ごようのまたからツツラプン『ぶうう』。もひとつおまけてツツラプン『ぶうう』。あああ、氣持ちえがつたあ、どうもありがとうございます。アハハハ。」

て、嫁こあ、笑たけど。

(つづく)

○出典『大石田の』とんとむがす』

(大石田とんとむがすの会編集・発行、二〇一九年)

大石田町公式アカウント開設

LINEははじめました

防災情報や各種行政情報を
受け取ることができます。

友だち登録を
お願いします！

登録方法

右の二次元コードを読み
取って友だちに追加して
ください。



大石田町公式LINE

防災放送の内容を
電話で確認できます

防災放送が聞き取りにくい、放送内容
を確認したい等のご意見をいただき、町
では防災放送確認ダイヤルサービスを開
始しました。

このダイヤルは定時(夕方6時のメロ
ディ等)放送を含め、直近の放送から8時
間以内の内容を順次聞くことができます。

確認ダイヤル: 0237-48-8444

■総務課総務グループ Tel.35-2111 (内線218)

町の人口 令和8年8月1日現在

世帯数	2,177戸	(-6)
総人口	5,646人	(-15)
男	2,816人	(-9)
女	2,830人	(-6)

(7月中の異動)

出生	1人	転入	11人
死亡	8人	転出	19人

※この人数は外国人も含めたものです。